

令和8年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

都 道 府 県 名 富 山 県

河 川 名 小 矢 部 川 水 系 子 撫 川 （一 級 河 川）

担 当 課 室 名 河 川 課

連 絡 先 076-444-3326

事業名	小矢部川水系子撫川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	富山県が管理する小矢部川水系子撫川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：富山県小矢部市宮中外地内			
実施予定期間	令和8年度～令和11年度（5年間）		土質区分	
<p>予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m³)</p> <p>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m²)書きで記載</p> <p>※事業実施にあたり、提出時点で想定される事業量について記載（変更がある場合には随時変更して差し支えない）</p> <p>※複数年度で実施する場合、事業量については、過年度分の計画値を実績値に修正すること。</p> <p>※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するよう残量について記載し、適切に進捗管理するものとする。</p>		残量	別添「発生土利用基準について」の「土質区分基準」による区分	
	令和7年度	0m ³	2,100m ³	<p>第〇種建設発生土 (把握が可能な場合に記載)</p> <p>※目視による見込みであり、実際と異なり得ることを注意書き可。</p> <p>※対象箇所の近隣で過去浚渫をした情報で代替することも可。</p> <p>※事前調査又は浚渫開始後でなければ判明しない場合は、判明次第追記して情報を更新可。</p> <p>※土質について、明確には判明しない場合、「第一種発生土又は第二種発生土」のように包括的に記載すること可。</p>
	令和8年度	400m ³	1,700m ³	
	令和9年度	500m ³	1,200m ³	
	令和10年度	500m ³	700m ³	
	令和11年度	700m ³	0m ³	
	計	2,100m ³	0m ³	
<p>その他</p> <p>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</p> <p>※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するための取組等を記載</p> <p>※変更がある場合には随時変更して差し支えない</p>	<p>※浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得ることを注意書き可。</p> <p>※発生土砂について、公共事業間に優先して使用することなどを注意書きで記載可</p>			

令和8年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

都道府県名
又は
市区町村名

富山県

河川名 小矢部川水系膿川（一級河川）

担当課室名 河川課

連絡先 076-444-3326

事業名	小矢部川水系膿川緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	富山県が管理する小矢部川水系膿川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：富山県小矢部市松尾地先外		
実施予定期間	令和7年度～令和8年度（2年間）		土質区分
<p>予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m³)</p> <p>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m²)書きで記載</p>			残量
	令和7年度	800m ³	200m ³
	令和8年度	200m ³	0m ³
	令和9年度		
	令和10年度		
	令和11年度		
	計	1,000m ³	0m ³
<p>その他</p> <p>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</p>	<p>・掘削した土砂等については、公共残土処分場に搬出する予定</p>		

令和8年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

都 道 府 県 名 富 山 県

河 川 名 小 矢 部 川 水 系 関 川（一級河川）

担 当 課 室 名 河 川 課

連 絡 先 076-444-3326

事業名	小矢部川水系関川緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	富山県が管理する小矢部川水系関川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：富山県小矢部市蓮沼外地内		
実施予定期間	令和8年度～令和11年度（4年間）		土質区分 別添「発生土利用基準について」の 「土質区分基準」による区分
<p>予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m³)</p> <p>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m²)書きで記載</p> <p>※事業実施にあたり、提出時点で想定される事業量について記載（変更がある場合には随時変更して差し支えない）</p> <p>※複数年度で実施する場合、事業量については、過年度分の計画値を実績値に修正すること。</p> <p>※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するよう残量について記載し、適切に進捗管理するものとする。</p>		残量	—
	令和7年度	0m ³	1,800m ³
	令和8年度	800m ³	1,000m ³
	令和9年度	500m ³	1,200m ³
	令和10年度	500m ³	0m ³
	令和11年度	0m ³	0m ³
	計	1,800m ³	0m ³
<p>その他</p> <p>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</p> <p>※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するための取組等を記載</p> <p>※変更がある場合には随時変更して差し支えない</p>	<p>※浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得ることを注意書き可。</p> <p>※発生土砂について、公共事業間に優先して使用することなどを注意書きで記載可</p>		